

日本デザイン学会 支部企画

教育成果集 2022

JSSD

教育機関：明星大学 デザイン学部 デザイン学科
 研究室：感性デザイン学研究室
 指導教員：吉岡 聖美
 教育成果：2022 年度卒業研究
 タイトル：市田柿の販売促進を目的としたパッケージデザインの提案
 ー色彩とフォントに着目した印象評価に基づいてー
 学生氏名：安藤 香夏

市田柿（長野県高森町特産の干し柿）の販売促進を目的としたパッケージデザインを提案するために、食品パッケージの現状調査、および、「買いたい」と感じるパッケージの色彩とフォントに関わる印象評価の調査を行った。現状調査から、半生の果物である市田柿は、中身が見えることがパッケージに必要な要素であることがわかった。印象評価の調査では、市田柿のイメージに繋がる橙色のパッケージに対して、最も「買いたい」と感じることを確認した。また、市田柿には高級で和風のイメージがあることから、書道体のフォントを使用したパッケージに対して、最も「買いたい」と感じる結果が示された。これらの調査結果に基づく色彩とフォント、および、高森町の風物詩である「柿すだれ」（軒先に柿を吊るす風景）を抽象化したイラストを取り入れたパッケージデザインを制作した。ドライフルーツが美容や健康を意識する若い女性に注目されている状況を踏まえ、若い女性を新たな購買層として、コンビニエンスストアなどで手軽に購入できる 1 個包装のパッケージとした。

「買いたい」と感じるパッケージの色彩調査



「買いたい」と感じるパッケージの文字フォント調査



市田柿のパッケージデザイン提案



教育機関：ものづくり大学
 研究室：総合機械学科 デザインテクノロジー研究室
 指導教員：町田 由徳
 教育成果：2022 年度卒業研究および制作
 タイトル：ユニバーサルデザインに配慮したエレキギターの制作
 学生氏名：高橋 峻平（学部 4 年）

エレキギター（Electric Guitar）は 1950~60 年代に、現在もスタンダードとされている形状が確立した。

しかし、ユーザビリティの観点でエレキギターの形態を分析した場合、左利き用ギターの流通量は全体の 0.5% とごく少量であり、サイズのバリエーションも少なく、大多数は右利きの成人男性が演奏することを前提としてデザインされていると言える。

そこで本制作では 1 本のギターで多様な体格のユーザーに対応させることを目的としてデザインを行った。ボディ本体は左右対称形を基本とし、パーツ類、回路を脱着する事で左右両用の形態を実現している。本体側面の膝置き部は高さを 7 段階に調整することが可能で、多様な体格のユーザーが座位で演奏する際に、身体の負担を軽減することを意図している。またギター全体の重量は従来のギターと比較して約 10~15% 程度軽量化に仕上げており、長時間の演奏に配慮している。

木部には上質のマホガニー材を使用し、在学中に修得した木材、金属の加工、塗装技術を有効に活用して制作を行った。

